

2. 指標設定

成果指標	指標名	健康寿命（介護認定していない年齢）	目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	83歳			総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-1-3)の目標にある要介護の重度化防止によるため				
活動指標	指標	a	はり、きゆう利用率	b	敬老祝品支給者数	c	ねんりんピック参加人員	d	
	数値	目標	70%	目標	650人	目標	200人	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
健康寿命（介護認定していない年齢）	歳	81.6	81.9	82.2
	%	98.3	98.7	99.0

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a はり、きゆう利用率	%	57.0	55.0	55.0
		81.4	78.6	78.6
b 敬老祝品支給者数	人	637	653	669
		98.0	100.5	102.9
c ねんりんピック参加人員	人	205	189	213
		102.5	94.5	106.5
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
敬老祝品の支給は健康寿命の延長という面からは効果的とはいえない。
対応（改善点等）
健康長寿に寄与するような施策への変更。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

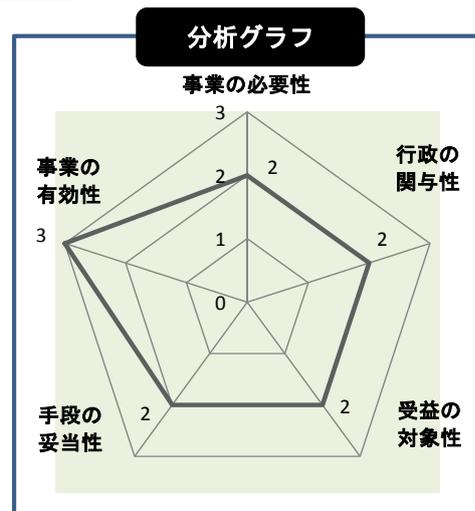
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		9,026	7,014	7,048	11,717
うち経常経費		5,674	2,631	4,247	7,090
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	3,173	2,456	2,039	3,827
	一般財源	5,853	4,558	5,009	7,890
うち経常		3,596	2,631	4,247	7,090
事業費に係る人件費		10,535	9,017	8,892	6,343
事業費に係る人役		2.45	2.10	2.04	1.43

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
現在62歳～67歳人口が構成上一番多い。継続的事业である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 他町村の状況を踏まえ、考察の必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 ねんりんピック事務局については考察の余地がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 65歳以上高齢者に対する健康づくりの事業である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 概ね利用率等は安定した傾向にある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 高齢者の生きがいや健康づくりに繋がる要因と考える。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	事業内容を検証し、より効果的な事業実施に努めること。